# 教科目標

## 医療専門課程
## 専攻科医療秘書専攻（昼間１年制）

### 養成目的

医療事務職として社会貢献する人材を育成することを目的とする。診療報酬請求においてはＤＰＣ算定におけるより高い知識・技術が必要となり、医療ＩＣＴの普及に伴って、電子カルテ操作や、ネットワーク管理などの知識も必要となっている。時代の変化に伴った業界が求める人材の育成を行い、医療機関から信頼される人材を育成する。

### 教育目的（ミッション）

専門学校および短期大学卒業以上の学歴を有する者に対し、医療秘書短期養成を行い、ＤＰＣなどの診療報酬請求に加え、ＩＣＤ分類や医療情報、統計関連業務、また電子カルテシステム操作など、現代の医療現場で求められている最新の知識・技術を学び、各種資格取得を目指す。

### 養成目標（到達目標）

診療報酬請求をはじめとした、各種知識・技能を身につけ、相手の立場に立った配慮、心遣いができるホスピタリティマインドを兼ね備えた人材の育成を目標とする。

### 取得目標資格

１．診療情報管理士（医療ＩＣＴ専攻修了者）
２．医療情報技師（医療ＩＣＴ専攻修了者）
３．医療秘書技能検定
４．医事コンピュータ技能検定
５．秘書技能検定
６．サービス接遇実務検定

### 就職分野

大学病院、総合病院、医療システム企業、医事システム開発メーカー、調剤薬局、クリニックなど。

### 職種

病院窓口、医療マネジメント職、診療情報管理士、医療システム管理者、医事コンピュータインストラクターなど。

# 教科目標

## 医療専門課程
## 専攻科医療心理専攻（昼間１年制）

### 養成目的

医療・福祉・産業・教育・司法分野において、医療心理学における専門的な知識・技術・人間性を高めるためのカリキュラムを実施し、社会に貢献する意欲のある人材を育成する。

### 教育目的（ミッション）

医療心理科３年課程の修了者を対象に、医療心理学における専門的な知識・技術・人間性をより高めるための教育を通じて、心理学と医療福祉分野の知識や技術をアウトプットできる総合的な力を身につけることと、大学卒業資格を目指した単位取得を目指す。

### 養成目標（到達目標）

専攻科医療心理専攻では、医療・福祉・産業・教育・司法分野に必要とされる倫理観・知識・技術・資格を身につけ、医療・福祉・産業・教育など幅広い領域で社会のために貢献できる人材の育成を目標とする。大学卒業資格を持つことで挑戦できる医療・福祉・産業・教育・司法分野における様々な職種を目指し、活躍するための継続的な努力と研鑽を絶やさない人材を育成する。

### 取得目標資格

１．大学卒業資格（学士）
２．キャリア・コンサルティング技能士（２級）受験資格
３．社会福祉主事任用資格
４．認定心理士
５．キャリア・コンサルタント（国家資格）
６．産業カウンセラー

### 就職分野

総合病院、障害者福祉施設、医療・福祉関連企業・法人、児童施設、一般企業など。

### 職種

生活相談員、生活指導員、産業カウンセラー、キャリア・コンサルタント、企業内メンタルヘルス担当、産業カウンセラー、人事・総務など。